

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	グリーンバスチャーズ多機能型事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 12月 5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 12月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動や療育を行うためのスペースが十分に確保されており、安全で落ち着いた環境の中で支援が行えている。	こどものその日の体調や気分配慮し、無理のない支援内容や声かけを心がけている。	職員研修やケース検討の機会を増やし、支援の専門性と質の向上を図る。
2	こどもの特性や発達段階を理解し、一人ひとりに応じた専門性のある支援を提供できている。	職員間で情報共有を行い、支援方法の統一や見直しを意識して取り組んでいる。	こども一人ひとりの理解をさらに深め、よりきめ細やかな支援につなげていく。
3	日頃から保護者とこどもの様子を伝え合い、健康面や発達面について共通理解ができている。	連絡帳や送迎時のやり取りを通して、保護者とのこまめな情報共有を行っている。	保護者との連携をより強化し、家庭と事業所が一体となった支援を進めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な面談や子育てに関する助言など、家族支援の機会が十分とは言えない。	日常支援業務が中心となり、面談や家族支援に充てる時間の確保が難しい。	定期面談の実施方法を見直し、オンライン面談等も活用しながら実施機会を増やす。
2	保護者会や父母の会など、保護者同士が交流できる場の提供が限定的である。	保護者の就労状況や家庭の事情により、集まりへの参加が難しい場合が多い。	保護者同士が無理なく参加できる交流の場や情報共有の機会を段階的に設けていく。
3	きょうだい支援や、家族全体を対象とした支援プログラムの実施が少ない。	家族支援プログラムや研修会の企画・運営に関するノウハウや人員が十分でない。	ペアレント・トレーニングや家族向け研修、きょうだい参加型イベント等の実施を検討し、家族全体への支援の充実を図る。